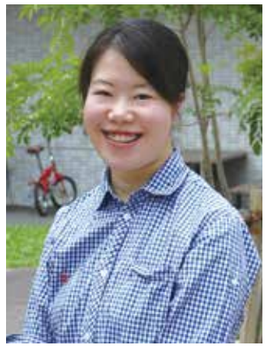
マイ キャンパス ライフ
My Campus Life

病理学への興味を満たす機会と仲間に恵まれ、幸運な学生生活を送っています！

医学部 医学科 6年生
齋藤 尚子
（さいとう なおこ）

My Life Situation
アルバイト: 家庭教師
趣味: 美味しい食事処探し
サークル: T-CoM地域医療研究会



常山先生の人柄が求心力 ゆるいつながりも魅力

齋藤さんが3年生の時に病理学を受講する際、新しく赴任した常山幸一先生が教える最初の学年となったことで、病理学に興味をもったと言います。

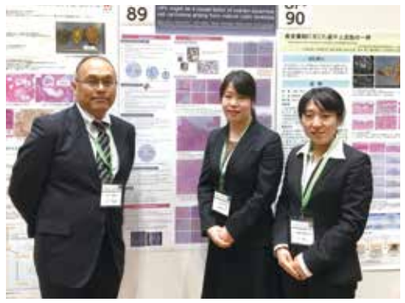
「どんな先生が来るのかな・・・と、みんなドキドキしていたんですが、すごくいい先生で。先生の人柄にひかれて、みんな自然と集まるようになり、勉強会や教室のイベントにも参加させてもらいました。

先生は私のような病理学って面白そうだなと何となく感じる学生のやりたい、知りたいということに対しても、全面的にサポートしてくださり、中四国の病理学会で症例発表したり、今年6月に北海道で行われた病理学会の総会へ参加したりと、貴重な体験もさせていただきました」。

講義や実習以外の時間で先生の教室にお邪魔して、もうちょっと知りたい、やってみたいという学生の知的好奇心を絶妙にフォローしてくれるという常山先生。常山先生の人柄が求心力となり、病理学に関心のある学生たちが集まって、一緒に学びを深め合っていったのだとか。

「私は病理学に興味のある人同士のゆるいつながりで、先生のところに集う一人に過ぎませんが、同じように興味を持っている人たちと一緒だったからこそ、いい意味でわいわいガヤガヤしながら勉強を続けられたように思います。場を作ってくださった先生に感謝していますし、周りにも恵まれたと思います。そのどちらか一方が欠けてもダメだったと思うので、私はとてもラッキーでした」。

「北海道に行ったときは、小樽においしいお寿司が食べられるところがあると聞いて、行ってみました。小樽の駅舎もキレイで楽しかったです」。



写真中央が常山先生。中四国の病理学会では胃腫瘍、札幌での病理学会では卵巣腫瘍の症例を発表。

先輩に続け

広島大学 大学院医歯薬保健学研究科
臨床薬物治療学研究室 教授
森川 則文（もりかわ のりふみ）

私は、徳島県名西郡石井町に生まれ、徳島県立城北高等学校から徳島大学薬学部に入学し、大学院薬学研究科修士課程を修了した、生粋の徳島県人です。昭和58年に香川医科大学医学部附属病院薬剤部薬剤師、平成3年に大分医科大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長を任命され病院薬剤師として19年従事しました。その間、平成5年に徳島大学から薬学博士を頂き、平成14年に広島大学大学院医歯薬学総合研究科臨床薬物治療学研究室の教授を拝命して16年が経ちました。

薬剤師として病院を経験し、処方箋のオーダリングシステムと処方箋の印刷、薬袋作成、一包包装の連動を医療機器メーカーと初めて完全稼働させることに成功しました。抗がん剤投与時の発熱性好中球減少症患者の治療設計の援助となる抗菌剤の投与設計プログラム「オメガモン博士」を世に出し、多くの人の命を救いました。さらには、薬局における指先自己穿刺による微量血液採取に基づく検査を実行できるようにし、薬局業務を改革しました。この間、多くの人財という財産に恵まれ、臨床研究を継続することができ、その結果、60歳にして学術論文も200報を超えました。

私が学生に伝えることは、「成功するには、準備、チャンス、意欲が必要で、偶然をチャンスに変える能力を有すること」です。最近は、何かテーマや難題を与えると、「むり」という答えが返ってきて、失敗を恐れるあまりにチャンスを逸する若者を見かけます。もともと若者には責任が取れないのだから、1%でも勝機が有れば、「やらせて下さい」というべきなのに、チャレンジ精神が欠けた優等生志望の若者が多くみられます。また、結果だけを求め、その準備過程、実行過程、結果を評価する過程、次のアイデアを生み出す過程を軽視する傾向にあると思います。準備過程と実行過程が正しいなら結果は必ず付いてくるもので、準備不足だから結果が伴わないと考えます。我々医療に携わる者は、常に偶然や不慮の事故に曝されますが、治療結果には100%を求められます。だから、既に経験したことの120%を目標に準備をします。よく「石橋を叩いて渡る」のですかと聞かれると、「石橋を叩いて壊して、新たな安全な橋を作ります」と答えます。

社会が求めるものを敏感に感じ取り、誰でも使える技術に換えることが私の使命と考えます。私の仕事は、誰もできなかったことに挑戦し、誰が作ったか知らないが、少し努力した者が普通に使える技術を提供する事につきます。大学では、ノーベル賞を取った有名人が持て囃されますが、本当は人知れず誰もが当たり前にできる物を作る喜びを知った人の方が多い所です。多くの名もなき、でも地域では高く評価される、社会の功労者を養成できるように、徳島大学の学生には育ってほしいものです。

指先自己穿刺による微量血液採取に基づく血糖値、HbA1c、コレステロール、尿酸値の研修会風景。

社会人薬剤師（島根大学病院:中央のスーツ姿）の博士課程の入学歓迎会風景

平成29年度薬学部卒業パーティ「臨床薬物治療学研究室（森川研）」の集合写真